

## a-1 区域内の学校との連携による情報収集

### 【事業実施概要】

- 小中学生への授業を通じて自然災害分野や自然生態系等の分野について過去と比べた気候の変化の実感をヒアリングする。
- 1回目の講座後、気候変動に関するアンケートを自宅に持ち帰り、小中学生が家族からヒアリングする形式で回答を作成する。また、2回目の講座においては、家族に行ったヒアリング結果を持ち寄り、グループワークを実施し、新たな発見やアイデアなど自由な発想で気候変動影響への理解を深めてもらう。
- 県内の公立小学校 2校にヒアリングを実施  
※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、事業計画を変更 6校→2校  
※業務計画上は2件となっているが、同様の内容で事前実施を行った学校も存在している。  
事前着手件数 4件(中学校2校、小学校2校))

### 【ヒアリング項目】

- 「近年の気候や気象の変化」「身近な動物・植物の変化」「現在実践している適応の取り組み」等

### 【実施期間】

- 令和3年12月～令和4年2月

### 【実施者】

- 岐阜県気候変動適応センター
- 外部委託事業者

## a-1 区域内の学校との連携による情報収集②

### 【ヒアリング実施概要】

〈問3. セミの種類・鳴き声など身近な動物の変化について教えてください〉

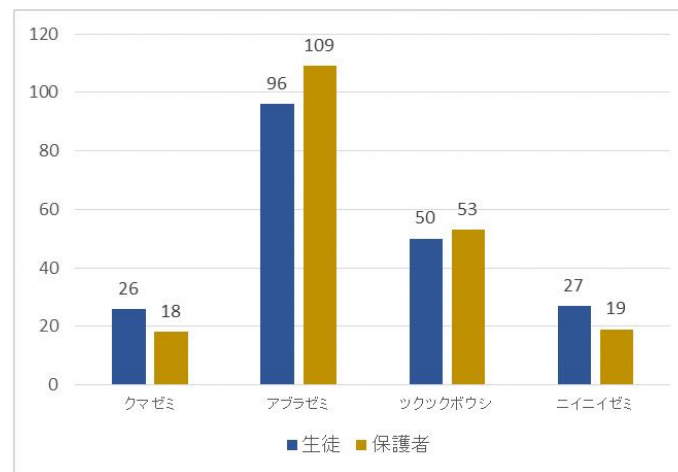
※小学校4校(事前着手分2校、計画分2校)のヒアリング結果

- 小学校はほぼ同じカーブでアブラゼミが多い。
- クマゼミなど、数十年前は岐阜県であまり目撃されなかったセミについても目撃情報は増えているようで、生態系への気候変動影響の可能性を感じさせる回答が得られた。



①	②	③	④
クマゼミ	アブラゼミ	ツクツクボウシ	ニイニゼミ
体長6~6.5cm	体長6cm	体長4.5cm	体長3cm

全体 (生徒 138人、保護者 145人)



## a-1 区域内の学校との連携による情報収集③

### 【ヒアリング実施概要】

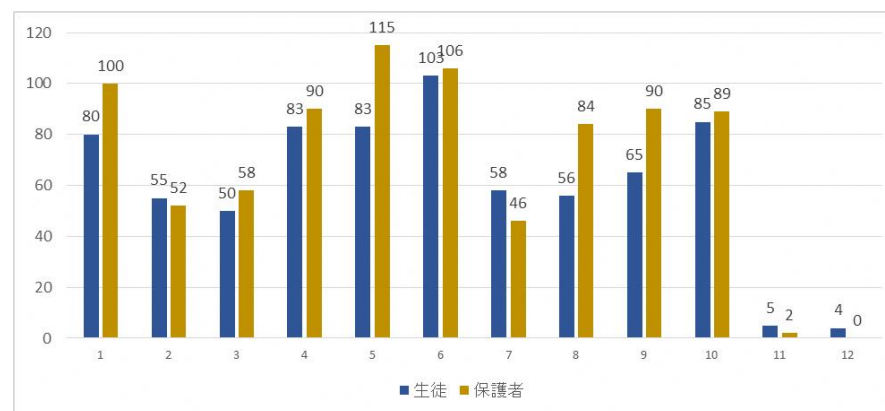
〈問5. 地球温暖化などの気候変動は、将来にわたって自然や生活に以下のような様々な影響を与えることが予測されています。あなたは、どのような影響を問題だと思えますか〉

※小学校4校(事前着手分2校、計画分2校)のヒアリング結果

- 生徒の視点では、「熱中症」への関心が一番高く、次いで「洪水」「生態系の変化」が比較的関心が高い。保護者の視点では「洪水」が一番関心が高く、次いで「熱中症」「農作物への影響」が比較的関心が高かった。
- 回答の傾向としては毎年のように起こる豪雨災害や猛暑等の体験や記憶からか、「熱中症」と「洪水」といった防災分野に偏りがみられる。これらの防災分野を切り口に、気候変動影響が与えるインフラへのダメージや感染症など、他の分野での影響についても授業で取り扱えるよう授業プログラムの見直し、今後の環境教育へ活かす。

1. 気温の変化により農作物の品質が下ること、収穫される量が減ること
2. 水量が不足し水質が悪化する所もあること
3. 雨が降らなくなりダムなどの湯水が増加すること
4. 野生生物や植物の生きられる場所が変化すること
5. 洪水などによる災害が増加すること
6. 熱中症が増加すること
7. 蚊によって感染するマラリアやデング熱などの被害が増加すること
8. 気象災害によって町が浸水し社会・経済に被害が発生すること
9. 豪雨や台風などの暴風によるライフラインやインフラに被害が出ること
10. 気候の変化による環境の変化
11. その他
12. 特に問題はない

全体 (生徒 138人、保護者 145人)



## a-1 区域内の学校との連携による情報収集④

### 【実施した授業プログラム】

※本授業を経て、アンケート、GWへと展開

- 学校ではSDGsの視点を授業に取り入れるところが増えている。
- SDGs「持続可能な社会の発展」を動機付けにすることにより、「気候変動」「適応策」「緩和策」を関連付けて話すことが可能になる。
- 今回は「SDGs」を導入に「緩和策」「適応策」についての教材・プログラムを作成し、小中学生の総合学習の時間にそれらを実証。

#### 〈課題・改善点〉

- 個々の学校の授業の進み具合、直近で取り扱った授業の内容等様々な要因が考えられるが、SDGsを導入にすると、エネルギー分野や3R等に注目がいき、「緩和策」の理解は進むものの、「適応策」のイメージを生徒に持たせることは難しいことが分かった。
- 他方、防災の分野の話になると教える側の意図が生徒にも伝わり易かった。
- 「適応策」をメインテーマとして授業を展開したいのであれば防災を切り口とし、基礎知識として災害に対する事前の備えを話した後に、なぜ災害に備えるのかという視点から、「気候変動」の学習へ繋げると、動機付けと共に適応策の理解が進みやすいということが今回の実証の結果から得ることができた。

時	単元名 (題材名)	活動・学習内容指導・支援の方法, (教材・必要物)	キーワード・ポイント等
5	導入 持続可能な社会とは	惑星限界とSDGs	SDGs 惑星限界
5	① 温暖化の仕組み・気候変動とは ② 温暖化の仕組みと二酸化炭素の関係	温暖化について 2100年の天気予報(岐阜県版) 【問い】温暖化で上がった気温 【問い】温暖化の影響	気候変動 二酸化炭素
10	① 気づき 気候が変わった世界の様子 日本の様子 災害 気候変動の予測	北極の氷の融解 気候変動の動物への被害 国内の災害(豪雨・線状降水帯) 身近な動植物の変化 気象変化の説明 (果物・野菜・米の適地が変わる)	線状降水帯 熱中症 生物多様性
10	知識・理解 ① 気候変動の適応策 ② ハザードマップ	災害への適応 天気予報 農業・食料への適応 身近な適応ハザードマップの使い方	特別警報 ハザードマップ
10	知識・理解 ① 緩和策・省エネルギー・再生可能エネルギーの比率	二酸化炭素・脱炭素社会 カーボンニュートラル 【問い】二酸化炭素とエネルギーとの関係 エネルギーはどのように作られるのか 家庭で使っているエネルギーのもととなる資源、つまり石油や石炭は、どこで採れるか。 石油や石炭といったエネルギーは、限りがある資源である。 【問い】化石燃料の他に「再生可能エネルギー」と呼ばれるものがあるの、聞いたことはあるか。	カーボンニュートラル 再生可能エネルギー 森林吸収
5	知識・理解 ① 持続可能な社会	SDGsをめざして	